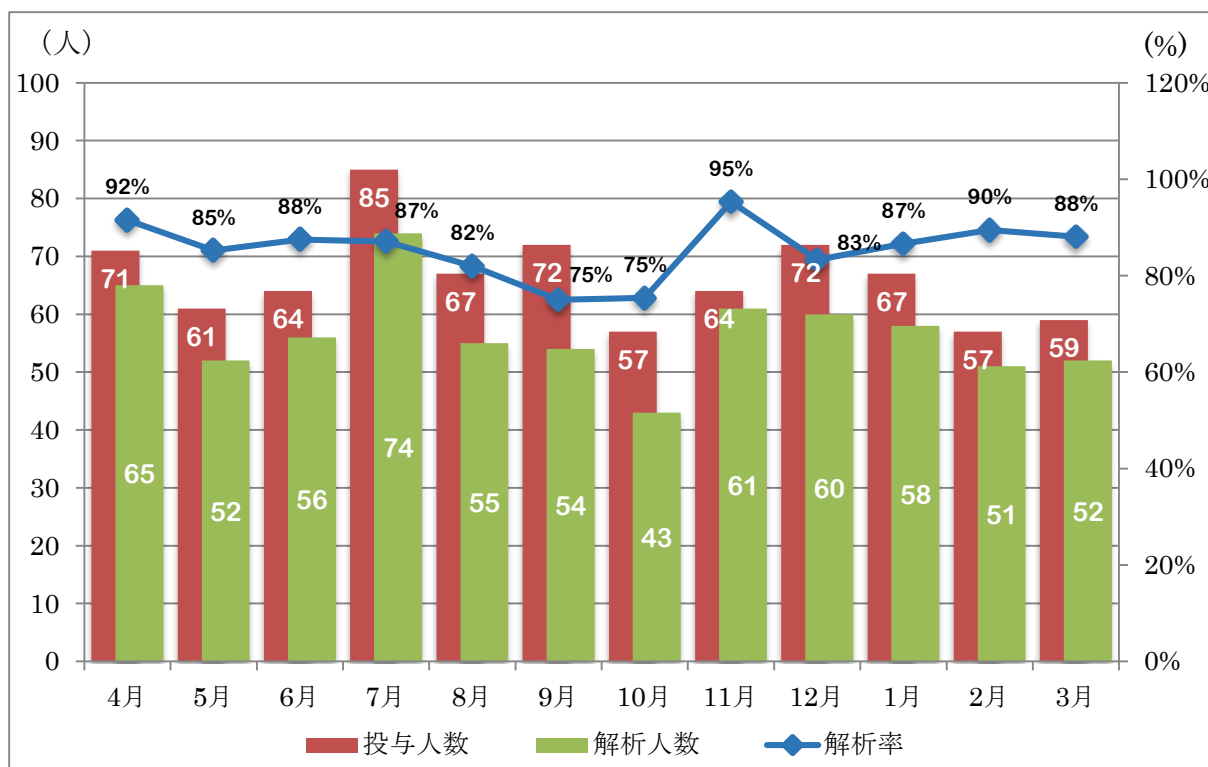


## 19. 抗MRSA薬（VCM・TEIC）の血中濃度測定解析率



抗MRSA薬であるバンコマイシン（VCM）とテイコプラニン（TEIC）について血中濃度測定を実施し、TDM解析率を示したグラフである。投与期間が3日以内の患者は除外している。血中濃度測定は、有効血中濃度と中毒域の幅が狭く、重篤な副作用のある薬剤に対して実施されている。血

中濃度測定により抗MRSA薬の有効性と安全性を予想する事が可能となり。抗菌薬適正使用支援チーム（AST）及び薬剤部が積極的な指導を行い2021年度の実施率は75～90%以上だった。特定薬剤治療管理料の算定も可能であり、本来であれば100%の実施率が望まれるところである。適切な抗菌薬の投与により、患者の予後は向上し、耐性菌の発生も抑えられるため、更なるTDM遵守率の上昇が望まれる。

当院では2018年4月に感染症科と感染対策室でASTを構成し、抗菌薬適正使用に関する包括的な取組を開始している。今後も各診療科との調整を図り改善できるよう計画、推進していく。

データ提供：医療の質・安全対策部 感染対策室